

◎小学校では運動会。赤羽文化センターまわりなど、秋たけなれ

物価高に最賃引き上げ追いつかず

■ 社会保険労務士の
禾火山けんたろうさんに聞く...

さがら: 10月1日からの改定額は、昨年より3/円引き上げですか。

秋山: 地域別の最低賃金が改定され、最も高いのが東京都で1072円になりました。(沖縄などの10県では、最も安く853円です。) 8時間で8576円です。1万円には遠く及びません。1ヵ月、フルタイムで170時間働いたとしても18万2240円です。諸条件によっても異なりますが、仮に社会保険料が毎月2万5000円、所得税と住民税で1万円とすると、手取額は14万7000円ほどになってしまいます。

さがら: 秋山さんは、8時間働かなくて生活できるおにしたいと言っていますね。そのためには、1日1万円以上を。

秋山: はい。今すぐ最賃1250円にしたい。労働組合の要求。そして日本共産党の政策としては、1500円への引き上げを政府に求めています。この異常な物価高を抑えるため、世界では99%の国が減税です。たばこに5%消費税。減税こそですね。



2022年第46回桐ヶ丘バザーのお知らせ

さがら事務所前 準備すすめてます

秋のミニバザー

10月23日(日)11じ~13じ

(午後1時まで)

*こんにちは。急に冬支度。あわてていませんか。体調に十分気をつけて。お待ちしています。

*恒例のバザーですが、実行委員会もミニサイズで準備中。でも、若い方の協力もいただいて、頑張ってます!

「テイクアウト (お持ち帰り用)」

炊き込みご飯 お赤飯 おはぎ
静岡のしらす(釜あげ、若干)、紅玉りんご
三宅島の方が八丈島で栽培する 明日葉とルスカス
・ 日用雑貨品コーナー

■ ひきつづき、日用雑貨品コーナーへの物品提供にご協力をお願いします。

10月15日までにご連絡ください。取りに伺います。

2022年 第46回 * 桐ヶ丘バザー実行委員会
<連絡先> さがらとしこ事務所 115-0052 赤羽北3-23-17
☎/FAX 03-3905-0970 さがら・秋山・細川まで



日本共産党北区議会議員

さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団

2022.10.13.No.1893.

御相談はお気軽に

TEL/FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

赤羽台東小跡地の半分とURの土地を一体化させて、民間事業者へ売却。10/5公表の資料を裏面で紹介。

暮らし・仕事・年金・法律 など
ご相談ください。

日本共産党北区議 さがらとしこ

社会保険労務士 秋山けんたろう

困ったら、☎/FAX 03-3905-0970

◆留守電の時は、お名前と電話番号をお願いします。後ほど、こちらからお電話します。

◇さがら事務所 〒115-0052 赤羽北3-23-17

国の緊急支援
給付金について
北区からの支給へ
手続きがはじまり。
なお、非課税世帯
の方だけでなく、
家計が急変した方
も対象になります。



新に、リネッサンス



令和4(2022)年10月5日
東京都北区
独立行政法人都市再生機構
東日本賃貸住宅本部

■ 土地譲受事業者

三菱地所レジデンス・住友商事・近鉄不動産共同企業体
(代表企業：三菱地所レジデンス株式会社)

■ 事業計画概要

「擁壁を切り開き、地域をつなぐ」をコンセプトに、敷地内の貫通通路沿いに設けた棚田状のコミュニティスペースが、赤羽駅前と本地区周辺の結節点として、地域の多様な方々の「緑」と未来の「緑」を繋ぐ、先進的な場所づくりを目指します。

| | |
|-------|---|
| 所在地 | 東京都北区赤羽台一丁目1番 |
| 敷地面積 | 約 13,760 平方メートル |
| 延床面積 | 約 59,000 平方メートル (予定) |
| 階数・高さ | 地上 29 階地下 2 階・約 95 メートル (予定) |
| 主な用途 | 分譲住宅 553 戸、生活利便施設 (カフェ、グローサリー、コワーキングスペース、クリニック等)、公共駐輪場 400 台、公共的エレベータ・エスカレータを含む通り抜け通路等 (予定) |

(*) 本計画概要及び整備イメージは事業企画提案時点のものであり、協議調整等により変更する場合があります。

赤羽台周辺地区中高層住宅複合B地区 (東京都北区) の
土地譲受事業者が決定

～赤羽台周辺地区のゲートウェイ形成に向けた取り組みを進めてまいります～

東京都北区 (以下「北区」という。) と独立行政法人都市再生機構 (以下「UR都市機構」という。) は、赤羽台団地 (現ヌーヴェル赤羽台) の建て替え事業を契機に、全国初の試みとして、周辺地区のまちづくり課題を解決しながら一層魅力あるまちづくりを推進するため、双方が保有する土地を一体活用する譲渡先民間事業者 (以下「土地譲受事業者」という。) を共同で募集しました。

このたび、事業企画提案内容及び入札額を総合的に評価した結果、「三菱地所レジデンス・住友商事・近鉄不動産共同企業体」を、赤羽台周辺地区中高層住宅複合B地区 (東京都北区) の土地譲受事業者として決定しましたので、提案された事業計画概要とあわせてお知らせします。

北区及びUR都市機構は、将来的な整備コンセプトに掲げた「赤羽台周辺地区のゲートウェイとして多様な人々が集い・行き交い・にぎわう都市生活拠点の形成」の実現に向け、土地譲受事業者と共に取り組みを進めてまいります。



整備イメージ：敷地東側 (線路側) からの俯瞰

■ 赤羽台周辺地区位置図



整備イメージ：高低差を活かし棚田状に配した広場 (赤羽台駅側の擁壁を一部撤去して設ける予定)

(*) B地区

「赤羽台周辺地区 地区計画」における旧北区立赤羽台東小学校跡地と隣接するUR所有地の総称。正式名称は、「中高層住宅複合B地区」といいます。